

令和4年7月4日

上石津地域のみなさまへ

牧田連合自治会	会長	杉田	邦隆
一之瀬連合自治会	会長	後藤	清
多良連合自治会	会長	川地	潤二
時連合自治会	会長	金森	雅之
上石津まちづくり協議会	会長	阿藤	昭博

義務教育学校設置に伴う上石津地域4小学校跡地施設の 利活用に関する要望書の提出について（ご報告）

ご存知のとおり、上石津地域の子どもたちにとってより良い教育環境を整備するため、令和6年4月を目途に、「義務教育学校」が上石津中学校の位置に設置されます。

この決定を受け、令和3年7月、連合自治会とまちづくり関係者で組織する上石津まちづくり協議会では、「学校跡地利用検討プロジェクト」を設置し、校区単位での検討を進め、このたび、「義務教育学校設置に伴う上石津地域4小学校跡地施設の利活用に係る要望書」を取りまとめました。（別添要望書写し参照）

つきましては、令和4年6月23日に、大垣市長様へ要望書を提出して参りましたので、ご報告いたします。

今後は、大垣市において、学校跡地施設の利活用に係る具体的な検討が進められる予定です。

地域のみなさまには、今後とも引き続き、本地域のまちづくり活動にご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



杉田会長(左)から石田市長(右)へ要望書を提出



左から後藤会長、川地会長、金森会長、杉田会長、石田市長、阿藤会長、田中市議

【問い合わせ先】 上石津まちづくり協議会事務局 電話 45-3113

義務教育学校設置に伴う上石津地域4小学校跡地施設の 利活用に係る要望書

令和6年4月を目途に、子どもたちの教育環境の整備及び地域の将来を見据えた特色と魅力ある学校づくりに向けて、「義務教育学校」を上石津中学校の位置に設置することを決定していただきましたことに対しまして、改めて深く感謝申し上げます。

一方、この決定により、上石津地域の4つの小学校（牧田、一之瀬、多良、時小学校）が閉校となりますが、ご存知のとおり、学校施設は、児童生徒の学びの場としての役割以外にも、指定避難所としての災害時対応拠点、学校開放時に使用している各種団体の活動拠点、地域行事を催すまちづくり活動の拠点として、長きにわたり地域コミュニティの核としての役割を果たして来ました。

こうした地域コミュニティの重要な役割を果たす学校施設の機能維持及び地域の活性化に向けた利活用について検討するため、令和3年7月、連合自治会とまちづくり関係者で組織する上石津まちづくり協議会が主体となり、学校跡地利用検討プロジェクトを設置いたしました。

プロジェクトでは、校区単位での検討を中心に進め、その検討結果について地域全体での調整を図ることにより、別紙のとおり、学校跡地施設の利活用に係る要望書として取りまとめました。

学校施設は地域の財産でもあり、閉校後の管理運営については今後も協力して参ります。市における4小学校跡地施設の利活用に係る検討に際し、別紙の内容につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年6月23日

大垣市長 石田 仁 様

牧田連合自治会 会長 杉田 邦隆

一之瀬連合自治会 会長 後藤 清

多良連合自治会 会長 川地 潤二

時連合自治会 会長 金森 雅之

上石津まちづくり協議会 会長 阿藤 昭博

原本は押印・提出済

上石津地域における学校跡地施設の利活用に係る検討方針

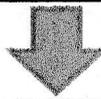
上石津まちづくり協議会学校跡地利用検討プロジェクト

優先順位① 災害時対応拠点としての機能維持

住民が地域において安全、安心に生活することは、地域コミュニティを維持する上で最も重要なことであると考えます。

現在、上石津地域の小学校施設は、指定避難所、土砂災害時指定緊急避難場所に指定されるなど、地域における災害時対応拠点として位置付けられ、住民の生命を守る大切な役割を果たしています。

このため、地域住民の視点から、地域の災害時対応拠点として機能維持が今後も必要と考える施設について検討を行います。

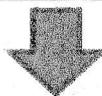


優先順位② 各種団体の活動拠点及びまちづくり活動拠点としての活用

現在、小学校施設は、学校開放時には、スポーツ少年団をはじめとする各種団体が活動拠点として使用しているほか、地区運動会をはじめとする地域行事を催すまちづくり活動の拠点としても使用しています。こうした団体等が施設の閉校により活動の場を無くすことは、地域コミュニティの衰退に繋がります。

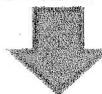
このため、地域住民の視点から、各種団体の活動拠点及びまちづくり活動の拠点として今後も利用していきたいと考える施設について検討を行います。

なお、上石津地域のまちづくりの特徴は、各校区単位に設置される公民館が中心となって活動が展開されている点です。こうした施設を新たにコミュニティ維持のための公共施設（公民館施設）として位置付けていただくことによりスムーズに活動が継続されますので、このような活用方法についても検討を行います。



優先順位③ 地域が主体となった施設の利活用

地域には抱える様々な課題や活性化に向けた理想があります。こうした課題の解決や理想を実現するため、地域の団体等が主体となって施設を借り受け、地域のまちづくり活動に活用していきたい施設について検討を行います。



優先順位④ 企業等の誘致による施設の利活用

学校跡地施設に企業等を誘致し、主体となる企業等に市が施設を売却又は貸付けることにより、施設の有効活用と地域ならびに市全体の活性化が期待できる施設について検討を行います。

また、施設を解体撤去することによって新たな活用が可能となる施設についても検討を行います。

多良小学校跡地施設の利活用に係る要望書

作成者／多良小学校跡地利用検討プロジェクト

1 全体的な利活用の方向性（コンセプト）

- ・多良地区の中心市街地に位置する多良小学校は立地条件が良いため、今後も災害時対応拠点として体育館、北校舎及び屋外運動場の機能を維持していきたい。
- ・多良地区のまちづくり活動は、多良公民館（上石津農村環境改善センター）を中心に展開されているが、調理室が無いうえ、会議室や倉庫が狭く機能が十分でないため、公民館機能を多良小学校に移転していただき、北校舎、体育館及び屋外運動場を新たな多良公民館に位置付け、まちづくり活動の拠点施設として活用していきたい。
- ・南校舎は、施設が老朽化している上石津図書館を移転していただき、地域全体の市民サービス向上に活用して欲しい。（※図書館の移転は他3地区のプロジェクトも了承済み。）上石津図書館の移転が困難な場合は、南校舎の積極的な企業等の誘致を希望します。

2 施設単位の利活用要望

◎活用あり（継続） ○活用あり（新規） △活用なし（要望あり） ×活用なし（要望なし）

施設区分	優先順位 (①→④)			
	① 災害時対応拠点	② 団体活動拠点及び まちづくり拠点	③ 地域が主体となっ た活用	④ 企業等の誘致によ る活用
体 育 館	◎	◎	×	×
	・指定避難所	・公民館（移転）		
屋 外 運 動 場	◎	◎	×	×
	・指定避難場所 ・応急仮設住宅建 設用地	・公民館運動場		
北 校 舎 (特別教室)	◎	◎	×	×
	・指定避難場所	・公民館（移転）		
南 校 舎 (普通教室)	×	○	×	△
		・上石津図書館 (移転)		・企業等誘致
プ ール	×	×	×	×